

2021年10月1日09:30 (日本時間) / 00:30 (協定世界時) まで公開禁止

auじぶん銀行 日本製造業PMI®

9月の製造業の業況、緩やかに改善

主な動向

生産高と新規受注数、再び減少

サプライチェーンで混乱が続く中、間接費の増加率は過去13年間で最大

景況感、3か月ぶりに高まる

2021年9月のデータ収集期間：2021年9月13～23日。

日本の製造業は9月も引き続き、業況の回復が鈍化していることを示した。コロナ禍による制限措置や悪化するサプライチェーンの混乱により、製造業の事業活動が阻まれ、生産高と新規受注数は年初来初めて縮小した。購買価格は2008年9月以来最も速いペースで値上がりしており、原材料の不足と納期の長期化により価格圧力は激しさを増している。しかし、企業らは今後1年間にわたる事業活動は増加するとの楽観的な見方を示し、6月以来となる強い景況感をみせた。

9月の主要指数のauじぶん銀行日本製造業購買担当者指数™(PMI) (製造業の全体的業況を表す指標)は、8月の52.7から51.5へ減少。製造業の業況回復は勢いがより緩やかになったことを示した。最新の調査期間における指数の推移は、製造業の業況が2か月連続で減速したことを示し、2月以来最も低い指数であった。

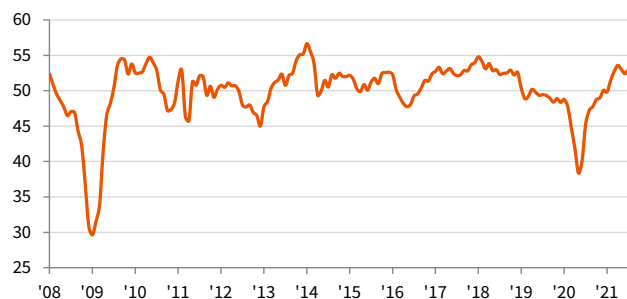
最新データは生産高が再び縮小したことを示した。減少は1月以来初、勢いは過去1年間で最も大幅だった。生産高の減少は、新型コロナウイルスの感染者数増加と継続する原材料不足が大きな要因であろう。

同様に、日本の製造業の新規受注数は2020年12月以来初めて減少し、その勢いは全体的にみれば若干とはいえ、過去10か月間で最も大幅だった。調査回答企業らは、国内市場における顧客の信頼感低下を売上減少の要因に挙げた。対して、日本の製造業の輸出需要は8月の減少から一転し、最新の調査期間では若干増加した。企業らは、特に中国や米国などの主要市場で需要が高まっているからだ、とコメントした。

そんな中、日本の製造業は需要が今後回復してくることを期待し、生産能力の増強を続けている。従業員数は6か月連続で増加、雇用増の勢いは2019年4月以来最大となった。受注残は7か月連続で増加。直近5か月中では最も大幅な勢いでの増加となり、生産能力に対する調整圧力があったことを示した。

(次頁に続く)

auじぶん銀行 日本製造業PMI
季節調整済み、>50 = 前月比で改善



出典：auじぶん銀行、IHS Markit

コメント

IHS Markitエコノミスト、Usamah Bhattiによる最新調査結果についてのコメント

「9月のデータは、日本の製造業の業況回復が鈍化したことを指摘。最新の製造業PMIは、デルタ株による新型コロナウイルス感染者数増加と、継続するサプライチェーンの混乱の影響を企業らが感じ始めたことを示した。

コロナ禍での厳格な制限措置と、原材料不足による混乱の影響で、日本の製造業は生産高と新規受注数の両方で再び減少を記録した。そんな中、海外市場は勢いこそ若干だったものの、8月の減少から増加へ一転した。

サプライチェーンの混乱は、9月も引き続き事業活動と需要を低下させた。企業らは、サプライヤー納期が2011年4月以来最長になるなど、サプライヤーチェーン活動が大幅に悪化したことを指摘した。

一方で、日本の製造業はこうした問題も近く解消されるだろうとの確信を持ち、今後1年間の見通しについても楽観的な景況感を強めた。景況感は、コロナ禍が収束して需要が広く回復し、数々の新製品発売を促進するだろうという期待に裏打ちされている。IHS Markitは、2021年における日本の製造業の生産高は8.2%成長となることを予測しているが、昨年のコロナ禍で落ち込んだ生産高を完全に取り戻すものではないと考えている。」

日本の製造業は、購買活動が7か月ぶりに再び縮小したことを指摘。縮小は全体的にみて緩やかだが、原材料不足と納期遅延の中、購買品の供給が不安定な状況が続いていることが要因に挙げられた。最新の調査期間では、サプライヤーの平均納期が非常に悪化し、東日本大震災でサプライチェーンの大混乱が発生した2011年4月以来の長期化を記録。こうした事情から、企業らは生産に安全在庫の使用を余儀なくされ、購買品在庫が4月以来初めて減少した。

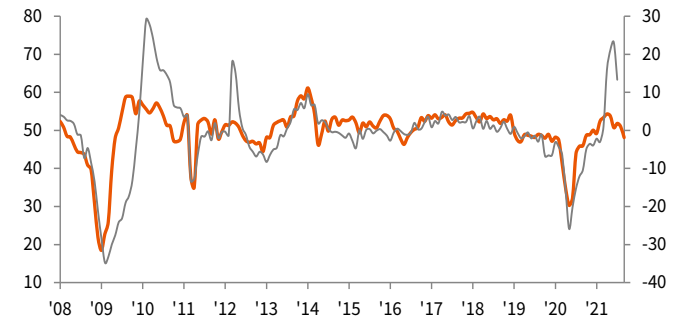
9月のデータは、日本の製造業の平均間接費がさらに増加したことを示した。購買価格の上昇ペースは8月から加速し、13年ぶりとなる最大の上昇率を記録した。多くの調査回答企業が、原材料と物流コストの広範囲な高騰を、購買価格上昇の要因に挙げた。価格上昇分の一部は、工場渡し価格を通じて顧客に転嫁されている。工場渡し価格は、2008年10月以来の大幅な勢いで値上がりした。

今後の事業見通しについて、製造業は今後1年間にわたって生産高が増加するという予測を維持し、景況感は6月以来の改善となった。製造業はコロナ禍の収束が需要の回復を促すだろうと見込んでいる。

PMI生産高指数

季節調整済み、>50 = 前月比で増加

製造業生産高
前年比 (%)



出典: auじぶん銀行, IHS Markit, 経産省

お問い合わせはこちらへどうぞ

auじぶん銀行
Grp-S-I-Room@jibunbank.co.jp

Usamah Bhatti
エコノミスト
IHS Markit
電話: +44 1344 328 370
usamah.bhatti@ihsmarkit.com

Joanna Vickers
コーポレートコミュニケーション
IHS Markit
電話: +44-207-260-2234
joanna.vickers@ihsmarkit.com

調査方法

auじぶん銀行日本製造業PMI®は、IHS Markitが製造業約400社の購買担当者に毎月調査を行い、その回答をもとにまとめています。調査対象企業は、GDPへの貢献度に従い産業セクターおよび従業員数別に階層化されています。

調査回答は前月比での変化を示すもので、各月の後半に収集されます。これにもとづき、サブインデックスごとの拡散指数(ディフュージョン・インデックス)を算出します。各指数は「増加/上昇」と回答した企業の比率と、「同じ」と回答した企業の比率の半分の合計です。数値は0~100の間で変動し、50を超えれば前月比で全体として増加したことを、50を割り込めば全体として減少したことを意味します。そのうえで指数に季節調整が加えられます。

主要指数は購買担当者指数™(PMI)です。PMIは次の5つのサブインデックスの加重平均です: 新規受注(30%)、生産高(25%)、雇用(20%)、サプライヤー納期(15%)、購買品在庫(10%)。ただしサプライヤー納期指数は、結果として得られる数値が他の指数と比較可能になる計算方法で算出しています。

基本的調査データは発表後に修正されることはありません。ただし季節調整要因は必要に応じて修正されることがあり、その場合は季節調整済みデータに影響が及びます。

2021年9月のデータ収集期間: 2021年9月13~23日。

PMI調査方法の詳細は、economics@ihsmarkit.comへお問い合わせください。

免責事項

ここに提供するデータの知的所有権はIHS Markitに帰属し、もしくは使用が許諾されています。当データのいかなる部分についても複製、配布、伝達またはその他の行為を含む無許可の使用は、IHS Markitから事前の承諾がない限り認められません。IHS Markitとauじぶん銀行は、当レポートの内容またはそこに含まれる情報(「データ」)、データ上のいかなる間違い、不正確な記述、脱落、遅延による、またはそれに関連した責任、義務、負担のいずれをも負うものでなく、またこれにもとづきとらたけたいかなる行為についても責任、義務、負担のいずれをも負いません。当データの使用によって生じるいかなる特殊、偶発的もしくは間接的損害についても、IHS Markitとauじぶん銀行は一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。Purchasing Managers' Index™およびPMI®はMarkit Economics Limitedの登録商標、もしくはMarkit Economics Limitedに使用が許諾されたものです。IHS MarkitはIHS Markit Ltd及び/又はその関連会社の登録商標です。

auじぶん銀行日本PMIのスポンサーは auじぶん銀行株式会社です

auじぶん銀行は2008年にKDDIと三菱UFJ銀行の共同出資により設立されたネット専業銀行です。「手のひらにある銀行」として、口座・金融商品・決済などに関して、スマホユーザー視点でサービス展開をしております。キャッシュカードなしで入出金可能な「スマホATM」、為替相場の動きを予測する「AI外貨予測」、Amazon Alexaへの対応など、ユーザーエクスペリエンスを豊かにするために様々な取り組みを行っております。

IHS Markitについて

IHS Markit(NYSE: INFO)は、世界の経済を促進する主要産業・市場のために必須情報・分析・ソリューションを提供するリーディングカンパニーです。次世代の情報・分析・ソリューションを企業、金融機関、各国政府に提供し、経営効率の改善および正しい情報に基づいた意思決定のための洞察に役立てていただいております。企業・政府機関の顧客数は50,000を超え、ここにはFortune Global 500企業の80パーセントと世界の大手金融機関も含まれます。

IHS MarkitはIHS Markit Ltd及び/又はその関連会社の登録商標です。その他全ての社名及び製品名はその各々の所有者の商標である可能性がありますのでご注意ください。©2021 IHS Markit Ltd. 禁無断転載。

IHS Markitのプレスリリースを受け取りたくない場合は、joanna.vickers@ihsmarkit.comへお知らせください。弊社のプライバシーポリシーは、[ここをクリック](#)してください。

PMI(購買担当者指数)

「購買担当者指数™(PMI)」、調査は現在、40を超える国々およびユーロ圏等主要地域で実施されています。世界で最も注目される景況調査として、各国中央銀行、金融市場、企業経営者の方々より、経済動向を知るための正確でユニークな最新月間指標としてご利用いただいております。詳しくは、ihsmarkit.com/products/pmi.htmlをご覧ください。